

有識者会議 会議録（議事要旨）

会議の名称	平成 28 年度 第 1 回かすみがうら市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成 28 年 6 月 24 日（金） 14 時 59 分～17 時 18 分
開催場所	千代田庁舎 本館 2 階 第 1 会議室
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚 洋一郎 委員 ・狩野 良和 委員 ・川島 宏一 委員 ・川村 成二 委員 ・近藤 かおる 委員 ・藤崎 和則 委員 ・古橋 智樹 委員 ・真藤 実男 委員 ・渡辺 一洋 委員 <p style="text-align: right;">（計 9 人）</p>
欠席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・櫻井 理恵 委員 ・鈴木 隆之 委員 ・兵藤 昭彦 委員 <p style="text-align: right;">（計 3 人）</p>
出席 (オブザーバー)	<ul style="list-style-type: none"> ・宮澤 裕義（関東経済産業局地域振興部地域振興課係長） ・久保田 彩加（筑波大学理工学群社会工学類都市計画専攻 4 年） <p style="text-align: right;">（計 2 人）</p>
事務局等	<ul style="list-style-type: none"> ・坪井 透（市長・かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部長） ・横瀬典生（副市長・かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進副本部長） ・大山隆雄（教育長・かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進副本部長） ・木村義雄（市長公室長） ・横田 茂（市長公室 政策経営課） ・西山 正（地方創生・事業推進担当） ・板垣英明（地方創生・事業推進担当） ・山内美則（地方創生・事業推進担当） ・貝塚裕行（地方創生・事業推進担当）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 座長選出 5 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について (2) 意見討論（自由討論） 6 その他 7 閉会

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

2 あいさつ

【坪井市長】

本日は、大変お忙しい中、平成28年度第1回かすみがうら市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、委員の皆様方におかれましては、多くの用務を抱えておられます中、委員をお引き受けいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、本市におきましては、昨年12月28日に「人口ビジョン」及び「かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定公表いたしました。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によりますと、本市の人口は減少すると見込まれておりますが、今後、地方創生を全庁的に推進し、総合戦略に掲げました、さまざまな施策を実施することにより、将来にわたり、活力ある地域づくりを進めてまいりたいと考えているところであります。

本日お集まりいただきました、有識者会議委員の皆様は、昨年度、策定の際にも委員として、ご意見を頂戴した方もいらっしゃいますし、また、今年度から新たに委員となられた方もいらっしゃいます。

委員の皆様方におかれましては、さまざまな分野でご活躍されていらっしゃる方々でございますことから、これまでの経験や見識、そして専門的な立場から、昨年度実施した事業に対するご意見、助言等、また、改善、見直しについての、ご意見、助言等いただきまして、地方創生に取り組んでまいりたいと考えております。

本日は、皆様方の活発な議論を大変期待しているところでございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 委員紹介

【大塚委員 特定非営利活動法人農商工連携サポートセンター 代表理事】

【狩野委員 認定こども園狩野学園 理事長】

【川島委員 筑波大学システム情報系社会工学域 教授】

【川村委員 かすみがうら市議会 総務委員会常任委員長】

【近藤委員 関東経済産業局地域経済部地域振興課 課長】

【藤崎委員 茨城新聞社土浦・つくば支社 編集部長】

【古橋委員 株式会社 Mind-Neo 代表取締役】

【真藤委員 かすみがうら市商工会 会長】

【渡辺委員 筑波銀行 上席執行役員 営業副本部長】

【事務局】

欠席の連絡を受けている方は、土浦地域労働者福祉協議会事務局長の鈴木隆之様、四万騎農園代表の狩野良和様、櫻井ブルーベリー園代表の櫻井理恵様で、三人を含めて合計 18 名の有識者会議の委員となる。

本日、オブザーバーとして、関東経済産業局地域振興部地域振興課係長の宮澤裕義様、筑波大学理工学群社会工学類都市計画専攻 4 年の久保田彩加様に出席いただいている。

4 座長選出

【事務局】

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第 5 条第 2 項の規定によりまして、座長は委員の互選により定めることとなっている。どのような方法で選出するか皆様からご意見を頂戴したい。

意見無し

【事務局】

特に意見が出ないようであるので、事務局から提案していただければと思う。

それでは、座長には筑波大学システム情報系社会工学域教授川島宏一様を推薦する。

一同承認

【事務局】

座長については、筑波大学システム情報系社会工学域教授川島宏一委員と決定する。

それでは、かすみがうら市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第 6 条の規定によりまして、座長が議長となることとなっているので、進行を川島座長にお願いする。

5 議事・質疑

(i) かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

【川村委員】

K P I が未達成の場合は、見直しを行うのか。

【事務局】

事業を推進していく中で、検討したいと考えている。

【渡辺委員】

K P I については、達成度を%表示すること、また単年度のインジケータを追加するなどした方が、わかりやすい。

【事務局】

今後、数値化できるものについては、そのような表示方法に努めたい。

【藤崎委員】

達成度の内訳を教えてください。

【事務局】

総事業数 39 事業のうち、目標達成が 6 事業、未達成の事業が 21 事業、平成 28 年度から取り組む事業が 12 事業となっている。未達成の事業の内容としては、取り組みを実施したが、単年度目標に達しなかった事業が 9 事業、内容が多岐にわたり一部取り組みが未着手となった事業が 8 事業、実施へ向けた準備時期などの理由により、具体的な成果の発言に至らなかった事業が 4 事業となっている。

【古橋委員】

総合戦略では、人を呼び込むための施策を立てている。隣接市と同じことをしては、成果が半減する。例えば、ふるさと納税で評判が良かったものを販路拡大へつなげることもあるのでは。

【事務局】

交付金があるから何かをするのではなく、市の強みを PR する施策であり、決して隣接市と同じものではない。

【大塚委員】

首都圏において、かすみがうら市はまだまだ知られていない。認知度向上には、交流人口の拡大が重要であり、特に食べ物というのは有効なツールとなる。

【川村委員】

実施内容の記載が実施計画となっているように思うので、わかりやすい表現をしていただきたい。また、事業に通し番号を付するなどするほか、見やすい表現でお願いしたい。

【事務局】

次回以降、通し番号を付すとともに、実施内容等についても、わかりやすい表現で記載するように努めたい。

【狩野委員】

幼・保・小連携の一貫教育など、市独自のものができないか。

【事務局】

教育内容を把握し、実質的に連携していければよいと考える。

【真藤委員】

商工会青年部でも婚活事業を実施しているので、連携していければよいのではと考えている。

【川村委員】

進捗状況について、単年度でどこまで進んでいるか分かるような資料として、例えばイナズマチャートを作成してはどうか。また、単年度と戦略の最終目標と両方がわかるような資料があるとよりわかりやすい。

【事務局】

進捗状況の資料については、今後、単年度の状況を示すなど、検討していきたい。

【川島座長】

優先度としては、認知度向上があげられるのではないかと。全体の見せ方をスケジューリングして、ビジョン、ストーリー、メッセージを外へ発信すべきではないかと。今ある資源として「湖山」のブランドをさらに磨いてPRしていくべき。

【大塚委員】

豊富な農水産物を活かすには、まず、食べてもらうことが大事である。そのために、例えばかすみがうらエンデューロの際に特定の食べ物をPRすることはどうか。また、東京でかすみがうら市味フェスタなど、食を提供する機会もつくってはどうか。

【近藤委員】

外への発信、認知度向上には、世界干芋サミットのように、メリハリをつけたインパクトのある見せ方をすることが良いのではないかと。

【古橋委員】

周辺市町村との連携も必要である。

【近藤委員】

新規就農者7人の成果はかなり大きい。

6 その他

次回のスケジュールについては、10月中旬の開催を予定とする。

7 閉会